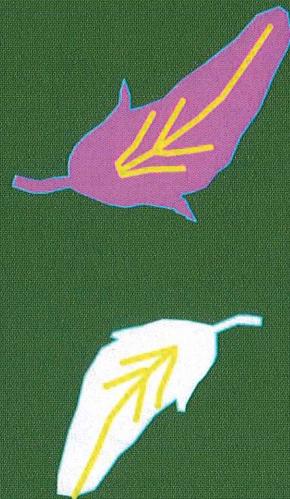


FLY!! YUZU !!



プライドと夢 ~その挑戦は記憶に残った~

オリンピック3連覇のかかった北京冬季五輪でフィギュアスケート男子シングルの羽生結弦選手は、ショートプログラムでまさかの不運に見舞われながらも4位まで追い上げをみせました。フリープログラムの「天と地と」では羽生選手の幼い頃からの夢であるクワッドアクセル(4回転半ジャンプ)に決意を持って果敢に挑み、転倒したもののISU(国際スケート連盟)公認大会でクワッドアクセルが認定されるなど、さらなる高みを目指して戦い続ける姿には、メダルを超えた価値があり、私達に感動を与えました。

西根田んぼアートを楽しむ会では、郷土の誇りでもある羽生選手のプライドと夢を追いかける真摯な姿を称えるとともに、昨年からの多くの皆様のリクエストにお応えして三たび羽生選手の雄姿を描くことにしました。

左側の絵柄は、ショートプログラムで披露した「序奏とロンド・カプリチオーソ」のポーズ。ピアニスト清塚信也さん編曲による羽生選手のこだわりのスケートを詰め込んだプログラムのワンカットです。

中央の絵柄は、フリープログラムでの「天と地と」のポーズ。渾身のクワッドアクセルへ挑む姿には世界中が感動しました。

右側の羽根の図柄は、羽生選手が親しみを持つモチーフです。

西根田んぼアートofの歩み

西根田んぼアートは2007年、高倉字熊野田地区の有志が古代米のPRと集落の活性化を兼ね、10アールの田んぼに「パンジーとコスモスの花」を描いたのが始まりです。以来6年、ロケット、チューリップなど様々な絵を描いてきましたが、組織強化を図り、より多くの方々に楽しんでもらおうと2013年に「西根田んぼアートを楽しむ会」を結成、田んぼの場所を高倉字内田地区に移転し面積も30アールに拡大しました。翌2018年に角田市に地域おこし協力隊が招聘され、田んぼアートは協力隊事業として取り組むことになり、面積も50アールに拡大、アート設計を測量会社に委託するなど推進体制が大幅に強化されました。このため、田んぼアートを楽しむ会は協力隊を全面支援する形で取り組んできましたが、2019年9月、地域おこし協力隊事業が終了。同年10月1日からは再度、西根田んぼアートを楽しむ会が主体となり、関係機関の支援を得ながら取り組みを続けています。

<これまでの実施アート>

- | | | | |
|-------|-------------------------------|---------|---------------|
| 2007年 | 「パンジーとコスモスの花」 | ・ 2008年 | 「ロケット」 |
| 2009年 | 「チューリップ」 | ・ 2010年 | 「おむすび」 |
| 2011年 | 「ニコニコ」 | ・ 2012年 | 「ホタル」 |
| 2013年 | 「ひかりちゃん」 | ・ 2014年 | 「巨大トンボ」 |
| 2015年 | 「巨大ホタル」 | ・ 2016年 | 「ガブリ君」 |
| 2017年 | 「牟宇姫」 | ・ 2018年 | 「牟宇姫バージョンアップ」 |
| 2019年 | 「羽生結弦選手と阿弥陀如来坐像、HⅡ ロケット」 | | |
| 2020年 | 「コロナ対策で中止」 | | |
| 2021年 | チャレンジ・再生「羽生結弦選手と不死鳥、ブルーインパルス」 | | |



2019年
羽生結弦選手と阿弥陀如来坐像、
HⅡロケット



2021年
羽生結弦選手と不死鳥、ブルーインパルス